

平成25年度施政方針

「ふるさと石巻の新しい未来を切り開く」ために

「施政方針」は、市長が市政運営についての基本的な考え方や重点施策等を市民の皆さんにお示しするものです。東日本大震災から2年が過ぎましたが、平成25年度は、「石巻市震災復興基本計画」に掲げました「復旧期」から「再生期」へ円滑に移行するための大事な1年です。市民の皆さんに復興を実感していただき、安心と未来への原動力になるよう復興事業のさらなる加速化を図ります。

重点的に取り組む施策

1 災害に強いまちづくり

東日本大震災から得た教訓や国の防災基本計画の見直しに伴い、「石巻市地域防災計画」の改訂を行うとともに、防災行政無線のデジタル化やコミュニティFM中継局の整備、津波避難ビ



▲避難ビル (魚町)

ルや津波避難タワーの整備等を図ります。また、「石巻市自主防災組織機能強化補助金交付要綱」に基づき、自主防災組織への支援を引き続き行うとともに、石巻市災害時備蓄計画を策定し、計画的な備蓄を推進します。

さらには、石巻工業港曾波神線、渡波稲井線等の南北道路の整備や石巻鮎川線、釜大街道線等の整備を推進し、災害に強い道路交通ネットワークの構築にも引き続き取り組みます。

2 暮らしを早く取り戻す

蛇田地区、渡波地区、二子南地区等の宅地造成に着手するとともに、高盛土道路の整備については、周辺の市街地整備と一体となって進めます。

さらには、防潮堤等の海岸保全施設の整備を進めるとともに、新市街地の整備や高台への宅地等の整備、復興公営住宅の早期の供給

に努めます。

また、湊小学校、渡波小学校、湊中学校の改修工事を行う等教育施設の早期の整備を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを引き続き配置し、子ども達の心のケアに努め、教育環境の充実を図ります。

3 産業・経済の再生

復興特区制度やその他の支援制度を活用しながら、

既存企業および被災事業者の支援を強化します。

また、新たな産業の創出や企業誘致に取り組み、働く場の確保と住まいの再建により、本市の人口減少を食い止め、定住人口の回復を図ります。「石巻復興協働プロジェクト協議会」においては、新エネルギーを活用した循環型社会、世界最先端のエコタウンの実現等により、産業の創造と雇用の創

出を図り、魅力的な街として復興させるための産学官による協働事業を推進します。農林水産業では、地域資源を活用した新商品の研究・開発を進め、農山漁村の活力を取り戻し、地域経済の活性化や食糧自給率の向上に貢献するよう、6次産業化を推進します。

4 総合支所エリアの復興

甚大な被害を受けた河北地区、雄勝地区、北上地区、牡鹿地区では、防災集団移転促進事業を最優先課題とし、高台等への住居の移転を促進するため、移転先の用地取得や造成工事に着手します。

牡鹿地区については、水産物地方卸売市場牡鹿売場の早期の復旧、さらには、製氷冷蔵庫等の整備を実施します。各漁港施設については、早期の完成を目指し、取り組みとともに、水産業の振興のための水産関連事業地の嵩上げについても併せて取り組みます。

雄勝地区については、公共施設等の災害復旧事業とあわせて地域再生のシンボルとなる基幹施設の整備を図ります。

河北地区については、除塩工事が終了する針岡地区の一部の作付けが予定されていることから、農業機械施設等の導入について支援します。

主要な施策

災害復旧・復興事業を最優先に取り組みることとしており、総合計画に位置付けています。「市民生活や産業の進展に欠くことのできない施策」については、厳選して取り組むことにしました。

1 市民が安心して生活するための防災対策

- ① 防災拠点としての総合運動公園の整備
② 石巻消防署西分署の建設
③ 防災ハザードマップの作成

- ④ 震災資料収集整理、震災記録展示会開催
⑤ 小学校・中学校用における防災教育副読本の活用、学校の防災機能の強化
⑥ 災害に強い情報連携システムの構築等



▲石巻市フォーラム2013

2 市民生活に密着したインフラの復旧

- ① 下水道施設の早期復旧
② 道路交通ネットワークの構築
③ 石巻工業港曾波神線の完成
④ 全供用開始に向けた工事
⑤ 石巻駅周辺地域を津波防災拠点としての整備に向けた検討

3 市民生活の復興に必要な基盤づくり

- ① 住宅被災者のための住宅地の整備
② 土地画整理事業の着工
③ 復興公営住宅の整備
④ 防災集団移転促進事業の推進
⑤ 住宅再建のための独自支援の継続
⑥ ささえあいセンターでの相談支援、被災者見守り
⑦ システム事業の継続実施
⑧ 応急仮設住宅コールセンターの継続設置
⑨ 国営復興祈念公園整備の継続要望
⑩ 水辺の緑のプロムナード計画の推進
⑪ 湊地区・渡波地区への防災緑地の整備

4 市民が健康に暮らせるための施策

- ① 仮設夜間急患センターの運営、在宅当番医制事業、病院群輪番制事業の継続実施
② 仮設雄勝診療所、仮設寄磯診療所の運営
③ 妊婦健康診査の公費助成の継続等、未熟児への訪問等
④ 子ども医療費助成の拡大
⑤ 虐待防止センターの設置
⑥ 空間放射線量測定、空間放射線量簡易測定器の貸出等
⑦ 学校等教育施設の早期復旧
⑧ 湊小学校と湊第二小学校の統合
⑨ 渡波小学校および湊中学校の改修
⑩ 特別支援教育共同実習所の再建
⑪ 学校給食センター建設に向けた基本計画策定および基本設計・実施設計
⑫ 母子家庭自立給付金事業・ひとり親家庭等在宅就業支援事業の継続実施
⑬ 放課後児童クラブ利用対象児童の拡大
⑭ 総合福祉会館「みなと荘」一湊こども園、「」放課後児

まちの話題

雄勝地区



2月2日(土) 東京都千代田区国立劇場

600年の歴史を誇る国指定重要無形民俗文化財の雄勝法印神楽が、2月2日、東北の復興支援企画出演で国立劇場の舞台に立ち、「蛭児」「鉤弓」「産屋」の3演目を奉納しました。会場は満席となり太鼓や笛の演奏、躍動感あふれる舞台を皇太子ご夫妻も鑑賞されました。

この公演で、平成25年度地域伝統芸能大賞保存継承賞を受賞し、10月5日、6日に石川県金沢市で開催される授賞式公演に出演します。

河北地区

3月2日(土) ビッグバン

地域の輪、笑顔広がる



大川地区の住民が一堂に集う「大川ふるさと祭り」がビッグバンで開催され、たくさんの人でにぎわいました。大川復興協議会と、ふんばろう東日本支援プロジェクトが主催したものです。

メイクやネイルアート、ミサंगा作り、子ども縁日、スイーツデコ、苔玉作り等のほか、お茶っこ会場や「居酒屋大川」も大盛況でした。大川地区を離れた人も参加し、地域の仲間との再会を喜び合っていました。

- ⑭ 児童クラブ」を合わせた施設的设计業務
- ⑮ 家庭教育学級開設事業の実施
- ⑯ 文化芸術参加型事業、被災児童生徒を対象としたアウトリーチ事業等の実施
- ⑰ 市民スポーツフェスタ、総合運動公園復興改修記念スポーツ大会の開催



▲石巻市民球場オープニングセレモニー

- 5 絆と協働の共鳴社会づくり**
- ① 町内会、応急仮設住宅団地自治会等が開催する交流イベント事業等への補助金の継続交付
  - ② 地域自治システムの構築
  - ③ イタリア共和国チッタベッキア市との姉妹都市締結

**6 市民生活の礎となる産業の復興に向けた基盤づくり**

- ① 水産物地方卸売市場の荷さばき所の建設
- ② 水産加工団地の排水処理場や汚水管の本格的な復旧工事の実施
- ③ 漁港の災害復旧工事、漁港用地の嵩上げ工事の実施
- ④ 北上川のシジミ種苗放流等に対する支援
- ⑤ 放射能情報共有システムの運用
- ⑥ 農林水産物の安全性のPR、風評被害の防止
- ⑦ いしのみき和牛のブランド化への支援
- ⑧ 被災農家経営再開支援事業の継続実施、被災農地の早期復旧
- ⑨ 間伐事業等の森林整備、地域産材の利活用の促進
- ⑩ 農林漁業者等による6次産業化の推進
- ⑪ 震災等緊急雇用対応事業等の継続実施、重点分野雇用創出事業の実施
- ⑫ 仙台・宮城DCによる観光再生の発信

**7 中小企業者の再生、復興**

- ① 中小企業復旧支援事業の継続実施
- ② 中小企業者の既存債務の買い取りの促進、東日本大震災事業者再生支援機構石巻事務所設置の要望
- ③ 融資あっせん制度災害関連枠および緊急経済対策

等保証料補給事業の継続実施、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業継続実施の要望

問 総合政策課  
(内線4212)

**○石巻市災害時備蓄計画を策定しました**

災害時に備え、市、市民、事業所等が協力し合い必要な物資の備蓄を行っていきます。

**1 備蓄計画の基本的な考え方**

「自らの身の安全は自らが守る」ということが防災の基本です。市民の皆さんも日ごろから被災直後に必要な物資を備えておくことが必要です。

しかし、震災時には、家屋の倒壊等により、多数の避難者や負傷者の発生が予想されます。このため、市民自らが非常用持出品として食糧等の備蓄をすることを基本としますが、市でも非常用持出品を持ち出せなかった避難者等のために、食糧や生活必需品、災害応急対策に必要な資機材を備蓄します。

**2 市全体の目標数量**

**(1) 想定最大避難者数**

東日本大震災時の津波浸水区域内の全ての世帯を想定し7万人としました。

**(2) 必要数量**

備蓄は3日分とします。(1日2食想定)

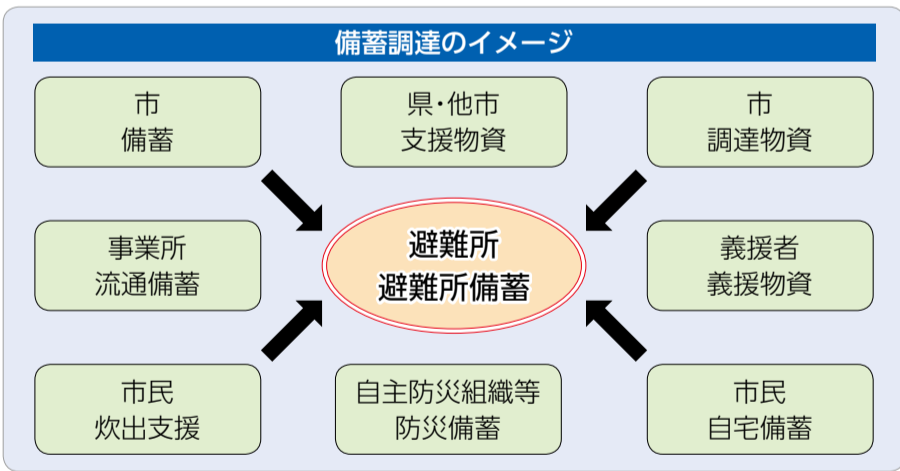
【食糧】 70,000人×6食=420,000食 【飲料水】 70,000人×6ℓ=420,000ℓ

**(3) 市民による持出**

7月8日に実施した津波避難訓練や12月7日に発生した津波警報時の調査結果から避難者の7割は非常用持出品を持参できることとして計画しました。

**(4) 備蓄目標内訳**

目標数量	食糧 420,000 食	水 420,000ℓ
市	50,000 食	50,000ℓ
市民	294,000 食	294,000ℓ
流通備蓄	76,000 食	76,000ℓ



**3 市の備蓄品**

緊急性があり、家屋が全壊・流失し避難した住民にとって、災害発生後、市や事業者等からの物資が届くまでの間に、必要不可欠な食糧、生活必需品等備蓄します。

- 【食糧品等】 調理不要レトルトご飯、非常用飲料水(500ミリℓ入り)、粉ミルク
- 【生活必需品】 毛布、タオル、簡易トイレ、マスク、生理用品、カセットコンロ等
- 【資機材】 発電機、投光機、簡易担架、太陽光ランタン、石油ストーブ、スコップ、バール等
- 【医薬品】 救急箱セット、救助用マット等

※食糧、飲料水以外の備蓄品については、既に各避難所に配備していますが、使用した場合や不足が生じると予想される場合に随時、補充していきます。

**4 ご家庭での非常用持出品の備蓄**

ご家庭では、食糧、飲料水、ラジオ、懐中電灯の必要最低限の備蓄をお願いします。また、常備薬、老眼鏡、携帯電話充電器等もいつでも持ち出せるようにしておくことが大切です。



※3日分以上の食糧や飲料水の備蓄をお願いします。乾物類は日本の伝統食品で保存日数も長く栄養もあります。また、普段購入しているものを上手に活用することでまかなうことができます。

**5 事業所による備蓄**

事業所では、従業員や来場者等の安全を確保するために資機材を備蓄し、防災訓練を実施しましょう。また、あらかじめ震災時における従業員の皆さんとの連絡方法を定めておくことや、3日分以上の備蓄を推進し、災害が発生した場合には、近隣住民等と連携しながら保有する施設や資機材、組織力等を提供することが望まれます。

**6 流通備蓄**

市では、現在18事業所と災害協定を締結しています。今後は、具体的な備蓄数を確認し、備蓄目標を達成できるよう協定内容の確認、見直しを行います。

**7 支援物資**

適切に支援物資受入のコントロールを行う必要があります。また、必要な物資を円滑に供給するために、市では総合物流企業等と連携し、効率的な物流システムの構築に努めます。

※石巻市災害時備蓄計画はホームページ上でも公表しています。

問 防災対策課(内線4168)

**まちの話題**

心身ともにリフレッシュ

3月2日(土)  
桃生公民館



一般教養講座「自衛術教室」が開かれ、25人の地域住民が健康増進の体育療法を学びました。

今回初めて開催されたこの教室では、100年近い歴史のある健康体操「自衛術」が紹介されました。講師の指導のもと、31あるさまざまな動作を実践し、気持ちよく体を動かしました。

**河南地区**

3月3日(日)  
河南総合支所前

火災予防をPR  
春の防火パレード



消防団河南地区団と、婦人防火クラブによる春の防火パレードが行われ、地域の火災予防と安全を訴えました。

毎年春の火災予防運動期間中に行われているもので、この日は約40人の団員とクラブ役員が11台の消防ポンプ車等に分乗し、前谷地コース、鹿又コースの2地区に分かれてパレードをして、市民の防火意識向上に努めました。

# 行政情報

## 市民課窓口にて番号案内表示機を導入します

4月15日(月)から、市民課窓口での混雑緩和、プライバシーの保護、効率的なサービスの提供および待ち時間の最適化を図るため、窓口番号案内表示機を使用し、名前をお呼びせず番号による案内を開始します。対象となる窓口は、市役所2階市民課の6番窓口(戸籍届・住所異動届等)、7番窓口(住民票等各種証明書申請受付)並びに8番窓口(証明書交付)です。また、5月1日(水)からは、市民課窓口および国保年金課窓口にて行政情報を放映します。ご利用ください。

## ①証明書お渡し口上部



## ②保険年金課窓口上部



市民課  
(内線2317)

## 新しく下水道処理が開始される区域をお知らせします

平成25年3月31日供用開始区域は次のとおりです。

### ■石巻地区

住吉町二丁目、吉野町二丁目、湊字鹿妻山、流留字中の各一部

### ■河北地区

北境字蒜沢の一部

### ■河南地区

広瀬字荒神前、前谷地字小谷地の各一部

### ■桃生地区

桃生町神取字屋敷、桃生町神取字山下の各一部

### ■鮎川地区

鮎川浜内山、鮎川浜清崎山の各一部  
下水道管理課  
(内線5693)

## 子ども医療費助成制度の手続きはお済みですか?

これまで、0歳から小学4年生までの外来分と入院分、小学5・6年生の入院分について実施してきました子ども医療費助成事業は、4月1日より、入院分の助成について中学3年生まで対象年齢を拡大します。2月中旬に、平成10年4月2日から平成12年4月1日生まれの子どもの世帯主宛てに申請書を送付しています。まだ手続きがお済みでない方は、早めにご手続きを行ってください。

問 保険年金課  
(内線2344)

## 今月は児童扶養手当の支給月です

児童扶養手当受給者で全部支給者および一部支給者について、12月から3月までの4カ月分を4月11日(木)に指定の口座へ振り込みます。

### 問 子育て支援課 (内線2512・2514)

## 平成25年4月から難病の方が障害福祉サービス等の対象となります

平成25年4月に施行される障害者総合支援法では、障害者の範囲に難病等の方が加わります。対象となる方は、身体障害者手帳の所持の有無に関わらず、必要と認められた障害福祉サービス等の受給が可能となります。

### 対象

対象疾患(130疾患)による障害がある方  
手続き方法  
対象疾患に罹患している事がわかる証明書(診断書または特定疾患医療受給者証等)を持参の上、申請してください。

その後、障害程度区分の認定や支給認定等の手続きを経て、必要と認められたサービスが利用できます。

### 申・問 障害福祉課 (内線2477・2479)

## 平成25年度

### ミニデイサービス支援事業

65歳以上で一人暮らし等の高齢者の健康づくりや社会参加および生きがいづくりのために、交流の場と活動の場を提供し、デイサー

ビスを実施している地域のボランティア団体等に対し、事業実施にかかる経費の一部を助成します。

### 助成要件

- ①地域の集会所等を活用し、おむね月3回以上実施できる団体等
- ②1日の事業実施時間を5時間以上とすること
- ③1回当たりの平均利用者数は5人以上とすること
- ④事業を6カ月以上継続して実施していることまたは6カ月以上継続して実施する体制が整備されていること

※平成25年度において、新たに助成を希望する団体は、お問い合わせください。

申・問 福祉総務課  
(内線2453)



## 市民相談センターからのお知らせ

携帯電話やスマートフォンでの画像や音楽のダウンロードで、パケット通信料が課金され高額請求されるケースや、無料のゲームや占いサイトから出会い系サイトに誘導され、強引な支払いメールが届くというトラブルが多発しています。上限額や暗証番号、フィルタリング設定等で、安全にご利用しましょう。

問 市民相談センター  
(消費生活相談)  
☎2315040(直通)

## 在宅障害者等社会参加促進助成券(タクシーと自動車燃料費共通助成券)

心身に重度の障害のある在宅の障害者が通院や社会活動に参加するために、タクシーや自家用車を利用する場合、タクシーの利用料金や自動車燃料費の一部を助成しています。

平成25年度の対象者には助成券または申請書を4月1日(月)に郵送します。

### 対象

身体障害者手帳1・2級および3級(肢体不自由、在宅酸素療法者のみ)、療育手帳A、精神保健福祉手帳1級のいずれかを所持し、平成24年度の市民税が本人非課税の方  
申請手続き  
平成24年度に交付を受けた方で、平成25年度も対象となる方には、助成券を送付しますのでご利用ください。

申・問 障害福祉課  
(内線2473・2475)



## まちの話題

### 牡鹿地区

2月14日(木)  
泊浜

## 東北最大級の太陽光発電所建設

牡鹿半島の南東部に位置する泊浜に東北最大規模10メガワット級の太陽光発電所が建設されることになり、現地で起工式が行われました。業務開始は来年4月を見込んでいます。

特定目的会社(SPC)の㈱サン・エナジー石巻が、民間の休耕地を借用して建設するもので、生産電力は全て東北電力に売却します。年間発電量は11,720キロワット時で、一般家庭3,000世帯分の発電を賄います。

### 北上地区

3月2日(土)  
にっこりサンパーク入口  
WE ARE ONE MARKET

## 震災前の北上町を描く



震災前の北上町を描いた「万年カレンダー」が武蔵野美術大学視覚伝達デザイン科の学生たちによって制作され、店舗に隣接する子どもハウスに設置されています。

木版製で大きな本の形をしており、獅子舞、釣り石神社、吉浜小学校、白浜海水浴場、ヨシ川リ等地域の名所や人々の暮らしが月ごとに描かれています。カレンダー部分はマグネットで文字を入れ替えることができ、何年も使うことができます。